プロジェクト　リース

項目　第 125 回リース会計専門委員会で聞かれた意見

本資料の目的

1. 本資料では、第 125 回リース会計専門委員会（2022 年 12 月 5 日開催）の審議で聞かれた主な意見をまとめている。

表示及び注記（四半期財務諸表における注記事項）

2. 企業会計基準第 12 号「四半期財務諸表に関する会計基準」にリースに関する注記事項の定めを追加しない事務局提案に同意する。事務局提案は、IFRS 会計基準の開示要求を出発点に検討を進めていることや貸手の会計処理を大きく変更しない方針としていることと整合しており、妥当と考える。米国基準においてのみ貸手の収益の内訳の注記が求められることとなった背景について教えていただきたい。

金融商品の時価等の開示に関する適用指針の改正案（ASBJ 基準等の改正案）

3. リース負債に係る時価の注記を求めない理由については、リース負債が借入金等と比して時価開示のベネフィットが劣る説明に、借り換えがない点を加えると説得力が増すのではないか。

4. 結論の背景の記載について、事務局の文案では、リース負債の時価を分析に用いる頻度が「低い可能性がある」とされているが、「可能性がある」との表現では、説得力が欠けるため、「低い」と記載する等、表現を変更してはどうか。

5. リース債権については流動化されるものがあるため、時価の算定をどの単位で行うのかにより算定される時価が異なる可能性があるのではないか。

以　上